

授業科目名	基礎看護学Ⅱ (コミュニケーション)	担当教員名	前田 三枝子			
期 間	前期	履 修 学 年	1	2	3	4
単位数・時間	2単位・30時間		●			
授業形態	講義・演習		●－必修・○－選択			
授業の概要 学習目標	<p>〔授業の概要〕 看護者と対象者との援助的人間関係の意義を、心理・社会的観点から学習し、専門的な援助関係を成立させるコミュニケーション技法について、知識と技術を習得する。</p> <p>〔学習目標〕 1. 援助的人間関係と理論、自己理解、概念要素を理解する。 2. 対象者への接近法、援助の関係成立の過程、相互成長を目指す関係終結法の理論と実践を習得する。 3. 看護技術としての基本的コミュニケーション技法が実践できるようになる。</p>					
授業回数	授 業 の 内 容					
第 1～14 回	<p>コースガイダンス、自己紹介</p> <p>第1章 自己成長の過程と援助的人間関係の形成 自己概念と自己認識、自尊感情、健康な人格、援助的人間関係</p> <p>第2章 コミュニケーションの概念と理論 コミュニケーションの定義、言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーション、メタコミュニケーション、</p> <p>第3章 コミュニケーションの過程</p> <p>第4章 治療的コミュニケーション技法</p> <p>第5章 クライアント－ナース関係：理論的概念 支援、ケアリング、共感 希望、自立性と相互性</p> <p>第6章 支援的人間関係の過程</p> <p>第7章 看護技術としてのコミュニケーション技法と演習 観察、傾聴、確認、共感</p> <p>第8章 コーチングと効果的面接法</p>					
	第 1 5 回	まとめ				
成績評価の方法	出席状況、演習参加度、課題レポート、最終筆記試験等の総合評価					
テキスト	後日提示					
参考図書	看護過程における患者－看護師関係、医学書院 患者の心に寄り添う聞き方・話し方、メジカルフレンド社					
履修上の留意点	演習に際しては、積極的な参加を期待する。					